

特別規則 No. 1

展示のテーマ及び主催者と参加者によるテーマ開発のためのガイドライン
(抜粋・仮訳)

(前略)

第4条 テーマ

1. 2023 カタール・ドーハ国際園芸博覧会のテーマは「緑の砂漠、よりよい環境 (Green Desert, Better Environment)」である。

2023 年ドーハ国際博覧会は、砂漠化を抑制し、持続可能な環境を確立するための革新的なソリューションについて、参加者と来場者に奨励し、刺激を与え、情報を提供することを目的とする。

人類は、身に余る生活をするこゝで、地球のバランスを変えてきた。地球温暖化は、年齢、性別、貧富、国籍に関係なく、すべての人々に影響を及ぼす、今日最も深刻な問題のひとつである。工業化が進んで以来、自然のバランスは大きく変化し、今では手の施しようがないほどになっている。

砂漠化とは、乾燥・半乾燥・亜乾燥地域において、気候変動や人間活動などの様々な要因により、土地が劣化していく過程を指す。過放牧、都市化、気候変動、地下水の過剰汲み上げ、森林破壊、自然災害、耕作などの要因により、もともと別の種類のバイオームの土地で砂漠化が引き起こされる。このようなバイオームの変容は、乾燥地や脆弱な生態系の持続的な劣化と生物多様性の喪失をもたらす。

世界の地表の3分の1は砂漠化の危機にさらされており、世界各地で、乾燥地がもたらす生態系の恩恵に依存する何百万人もの人々の生活に影響を及ぼしている。砂漠化の脅威にさらされている土地は毎年1,200万ヘクタールずつ増加しており、世界的な問題となっており、乾燥化が進むと、これまでのような人口を養えなくなる。結果として、大量の農村住民が都市部に移住し、環境問題だけでなく、経済的な課題も生じている。

砂漠の緑化は、世界的な水・エネルギー・食糧不足の問題に対する解決策となり得るため、重要かつ緊急性の高いテーマである。2023年ドーハ国際博覧会では、世界各地で顕在化している砂漠化問題の解決に重要な役割を果たす、乾燥地での樹木や作物の持続的な栽培技術に焦点を当てる。

2023年ドーハ国際博覧会では、砂漠の緑化を、乾燥地帯や湖、川、海、海などの水源に近い地域の灌漑や植林の持続可能なプロジェクトとして考えている。

本展示会では、天然水による灌漑や再生可能エネルギー供給など、クリーンテクノロジーの利点に焦点を当てる。緑の砂漠の理想は、人々を巻き込み、社会的な支持を得て、文化的な変化を実現することなしには達成されない。

2023年ドーハ国際博覧会では、参加者や来場者に「緑の砂漠」の理想と砂漠化の防止・対策についてアピールするとともに、このテーマについて独自の視点を持ち込むことを奨励する。

(後略)